

鹿児島大学理学部理学科（令和2年度開設）

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
(1) 学生の確保の見通し	2
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
ウ 学生納付金の設定の考え方	4
(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	4
2. 人材需要の動向等社会の要請	
(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	5
(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	5
参考資料	
● 鹿児島県内高校生向けアンケート調査票	7
● 鹿児島県内高校生向けアンケート調査結果	9
● 最近5年間の理学部入試状況	16
● 最近5年間の理学部卒業生の就職状況	19
● 最近5年間の理学部に対する求人状況と就職率	20
● 企業アンケート調査票	21
● 企業アンケート調査結果	23

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

鹿児島大学理学部は、理学科を置き、数学と自然科学の各分野を網羅する5プログラム（数理情報科学プログラム、物理・宇宙プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地球科学プログラム）により構成される。鹿児島大学理学部は、多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図ることを教育目標とし、「理学分野の諸課題に対して、高い倫理観を持って、グローバルな視点から多面的・俯瞰的に考える能力」、「理学的視点からの調査力・分析力と、課題発見能力」、及び「専門分野の知識・学力と幅広い知識に基づく柔軟な理学的発想力（シーズからの発想力）と、自律的で実践的な課題解決能力」「コミュニケーション能力を有し、専門分野以外を含め他者と協働する能力」を修得させることを教育研究上の目的としている。

この目的を達成するため、鹿児島大学理学部では、「理学」の幅広い知識を身に付けた後に、専門分野の知識と技能を体系的に学ぶカリキュラムを実施予定である。また、高いレベルの課題解決能力を身に付けるために、少人数のゼミナールや実験・実習を設定する。

カリキュラムの実施に必要な教室、実験室及び実験設備などの物理的な要因と、教員数等の関係から総合的に判断した結果、理学部理学科の入学定員及び収容定員をそれぞれ185名、740名とし、各プログラムの定員の目安を以下の表1のとおりとする。

表1. 理学部理学科の入学定員及び収容定員

理学部理学科	入学定員	各プログラムの入学定員の目安		収容定員
	185 名	数理情報科学プログラム	40 名程度	740 名
		物理・宇宙プログラム	45 名程度	
		化学プログラム	41 名程度	
		生物学プログラム	35 名程度	
		地球科学プログラム	24 名程度	

鹿児島大学理学部では、新しい入試制度として入学後に所属プログラムを決める大括り入試を導入する。プログラム別入試で入学した学生に対しても、2年次に転プログラムの機会が与えられている。また、大学院への進学を促す新しい制度として、理数教育プロジェクトコースを設定する。これらの改革は、受験生の

ニーズと合致するものであり、入学希望者にとって魅力的な制度であると考え。

改組後の理学部の入学定員及び収容定員は、現在の理学部4学科の入学定員及び収容定員の合計と同じである。過去5年間の理学部4学科の入試倍率の平均値は3倍を超えており、改組後の理学部理学科でも定員は確保できると考えられる。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

平成26年度から平成30年度までの理学部4学科の入試倍率を表2に示す。学科ごとに倍率のばらつきはあるものの、4学科の最終的な入試倍率の平均値は3倍を超えている。

表2. 平成26年度から平成30年度までの理学部4学科の入試倍率

年度	数理情報 科学科	物理科学科	生命化学科	地球環境 科学科	総 括
平成26年度	2.93	2.44	4.00	2.70	3.04
平成27年度	2.98	4.16	3.26	3.08	3.37
平成28年度	2.95	2.76	3.02	2.74	2.86
平成29年度	2.85	2.20	2.24	2.48	2.43
平成30年度	3.23	4.00	4.84	2.44	3.64
5年間平均					3.07

改組後の理学部の入試制度とカリキュラムが高校生のニーズと合致していることを確認するため、鹿児島大学理学部への進学実績のある高校にアンケート用紙を送付し、高校生を対象として大学入試と大学での教育に関するアンケートを実施し、37校、1065名（1年生111名、2年生783名、3年生171名）から回答を得た。アンケートの結果、鹿児島大学理学部を進学先として志望している高校生は、全体の20%であった。理系学部（理、工、農水系、医歯薬系）への進学希望者に限ると25%であり、鹿児島大学理学部が進学先としてよく認知されていることが確認された。

また、進学に際して進路が明確でない高校生は25%に上り、自分の適性が分からないとする高校生も28%であった。また、転学部、転学科など、専門分野を変更する機会が必要とする高校生は62%であり、その多くが2年次に転学科等を検討する機会を希望している。今回の改組で新たに導入する大括り入試はこのような傾向を示す受験生にとって適切な入試方法になると思われる。

大学での教育についても、入学当初から専門分野を中心に勉強したいという高校生は27%であるのに対し、専門分野に限定せず幅広い分野を勉強したいと考え

る高校生は 70%に上ることから、1 年次で共通教育科目と理学部共通科目を履修した後、専門分野の学びを深めていく新しいカリキュラムは、学生のニーズに沿ったものであると考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

他の学部（法文学部、教育学部、医学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部、共同獣医学部）と同様に、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に定める標準額と同額に設定する。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況

・リーフレット作成と高校訪問

平成 31 年 4 月には改組後の理学部の入試制度や教育体制を紹介するリーフレットの作成を予定している。リーフレットが完成次第、九州各県の鹿児島大学理学部に進学実績のある高校の進路指導担当者に今回の改組の趣旨を説明したうえで、高校生へのリーフレット配布を依頼する予定であり、大きな宣伝効果が期待できる。

・オープンキャンパス

例年、8 月と 11 月にオープンキャンパスを開催しており、多くの受験生が参加している。平成 30 年度は 8 月 5 日に開催し、理学部だけで高校生 638 名、既卒者、保護者等 68 名の参加者があった。11 月 17 日には全学合同のオープンキャンパスとして、理科系体験講義及び理学部キャンパス探訪に合計 65 名の参加者があった。平成 31 年度も同様の日程で開催予定であり、受験生、保護者、及び高校の教員などに改組後の理学部の入試制度や教育体制を直接伝える機会となり、大きな効果が期待できる。

・入試説明会

例年、7 月に鹿児島大学内において理学部・工学部合同の学部紹介及び入試説明会を実施しているほか、各地で進学に関する説明会を開催している。平成 30 年度は鹿児島県内（鹿児島市、奄美市、志布志市）のほか、福岡県及び長崎県でも説明会を実施した。平成 31 年度も同様に実施し、改組の概要について説明することで、学生確保の効果が期待できる。

・出前講義、出張授業、及び高等学校との連携事業を通じた広報

鹿児島大学理学部では、高校側の依頼に応じて実施する出前講義と、理学部で経費を負担して教員を派遣する出張授業を実施している。平成 30 年度は、24 件の出前講義と 8 件の出張授業の他、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業への支援、及びサイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）事業への支援を実施した。平成 31 年度は、これらの講義や支援事業の際に、理学部教員が改組後の理学部の入試制度や教育体制を紹介し、高校生に対する絶好の広報の機会とする。

- ・ウェブサイトによる広報

鹿児島大学理学部では、ウェブページを利用した広報活動を行っており、現在も継続的に入試情報や特色ある教育の紹介のほか、フロムページと協力して合格者のコメントなどを掲載している。ウェブページを利用した広報活動はかなりの効果が期待できるため、今後、できるだけ早い時期に新・理学部の紹介ページを作成し、情報の周知に努める。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

鹿児島大学理学部は、多様な科学的問題に対応できる幅広い課題探求能力の育成を図ることを教育目標とし、「創造的で指導的な役割を担う専門的職業人として活躍できる人材」及び「未知の課題に挑戦する研究者・技術者として活躍できる高度な研究能力を有する人材」の育成を目指している。そのために、「理学分野の諸課題に対して、高い倫理観を持って、グローバルな視点から多面的・俯瞰的に考える能力」、「理学的視点からの調査力・分析力と、課題発見能力」、及び「専門分野の知識・学力と幅広い知識に基づく柔軟な理学的発想力（シーズからの発想力）と、自律的で実践的な課題解決能力」を修得させることを教育研究上の目的としている。

(2) 上記（１）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

社会的基盤となる技術や制度が高度化・多様化していく中、これを支える理科系人材に対する期待も高まっている。平成 27 年に発表された文部科学省「理工系人材育成戦略」では期待される活躍の在り方として、新しい価値の創造及び技術革新（イノベーション）が第一に挙げられている。また、平成 28 年に発表された鹿児島県「かごしま製造業振興方針」においても、第一の指針として、たゆみないイノベーションと製品の開発・事業化による付加価値の創出・向上が掲げられており、特徴ある地域資源を生かした新事業の創出・育成を重視する姿勢が示されている。

上記（１）に示した鹿児島大学理学部で養成する人材像は、イノベーションを志向する人材に欠かせない創造性と未知の課題に挑む力を備えており、現在の人材需要と合致している。最近 5 年間の理学部卒業生のうち、就職を希望するものは 80 名～93 名であるのに対して、求人件数は 519 件～890 件となっており、就職率も 86.2%（平成 25 年）～100%（平成 28 年）、5 年間の平均で 93.9%に達しており、理学部卒業生に対する人材需要の高さを裏付けている。

改組後の理学部のカリキュラムと教育目標が企業の人材ニーズと合致していることを確認するため、鹿児島県内をはじめ国内の企業 448 社にアンケート用紙を送付し、人事・採用担当者を対象として理学部改組と採用に関するアンケートを実施し、143

社から回答を得た。回答のあった企業のうち、過半数が九州内の企業であり、約3分の1が鹿児島県内企業であった。業種としては、製造業と情報通信産業の割合が高く、次いで卸売・小売業、建設業であった。企業規模は中小企業から従業員数5,000名を超える企業まで、様々であった。多くの企業で理科系人材の採用意欲は高く、理学系の人材を採用したいと考えている企業だけでも16%、学部・学問系統にはこだわらないという回答を含めると、67%の企業が理系人材の採用計画を持っている。

改組後の鹿児島大学理学部理学科の特色は、分野横断的教育、学びの質保証、理解の質保証、キャリアに応じた2コース制の4点である。企業の採用担当者の視点から、この特色の魅力について尋ねたところ、全てにおいて8割を超える好意的な回答が得られた。特に、学びの質保証と理解の質保証については、極めて魅力的であるという回答がほぼ半数に達した。また、理学科卒業生に対する採用意欲も極めて高く、97%の企業で採用に前向きな回答が得られた。

以上のとおり、理学部理学科の教育的な特徴は企業ニーズとよく合致しており、理学部理学科の人材育成の方針が、社会的、地域的な人材需要を踏まえたものであるといえる。

参考資料

高校生に対するアンケート調査票

● 鹿児島大学理学部に関する高校生アンケート ■

【アンケートの目的】

本アンケートは、高校生みなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、鹿児島大学理学部の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、前記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

【回答方法】

回答番号が用意されている質問に対しては、最も近い番号に1つ「○」をつけてください。
その他の質問には、回答を記述してください。(表面と裏面に質問があります)

問1. あなたの基本的な情報を教えてください。

①高校名・学年

() 高校・() 年生

②性別

1. 男性 2. 女性

問2. 大学進学についておたずねします。

①自分の進学先について、明確なイメージを既に持っていますか。

(「1」と回答された方は次に進んでください。「2」と回答された方は④へ進んでください。)

1. 持っている 2. 持っていない

②志望する大学、学部はどれですか(1つ選択)。

1. 理学系 2. 工学系 3. 農・水産系 4. 医・歯・薬系
5. 教育系 6. 人文社会系 7. 芸術系 8. その他

③大学、学部を選ぶ際の目安となる事柄はどれですか(回答後、⑤に進んでください。)

(複数回答可)。

1. 知名度・イメージ 2. 立地 3. 自身の学力 4. 卒業生の就職先、就職率
5. 得られる資格等 6. 教育内容 7. 研究内容 8. その他

④(①で「持っていない」と答えた人にお尋ねします) 明確でない理由は何ですか。

1. 自分の適性がわからない 2. 大学、学部の教育内容がわからない
3. 将来の職業に迷っている 4. その他 ()

⑤大学ではどのようなカリキュラムで勉強したいですか。

1. 最初から専門分野を中心に勉強したい
2. 最初は専門分野を定めず広範囲の勉強をして、2年生以降で専門分野の勉強をしたい
3. 専門分野にこだわらず、自分の興味のある分野を勉強したい
4. その他 ()

⑥転学部、転学科など、専門分野を変更する機会は必要ですか。もし変更するなら、どのタイミングで変更したいですか。

1. 必要(2年進級時) 2. 必要(3年進級時) 3. 必要(4年進級時) 4. 不要

⑦大学卒業時に最も身につけておきたい能力・事柄はどれですか(複数回答可3つまで)。

1. 専門分野の知識 2. 視野の広さ 3. 仕事に対する職務遂行能力
4. 協調性 5. 創造力・企画力 6. 分析力・情報処理能力
7. 表現力・説得力 8. リーダーシップ 9. コミュニケーション能力
10. 責任感・粘り強さ・誠実性 11. 外国語(英語など)の能力 12. パソコン操作等の能力

(裏面もあります)

1. 民間企業 2. 公務員 3. 教員 4. 大学院進学 5. わからない・未定

1. 大いに考えている 2. 考えている 3. どちらとも言えない 4. あまり考えていない
5. 考えていない

1. 大いにしたい 2. したい 3. どちらとも言えない 4. あまりしたくない
5. したくない

1. 大いに参加したい 2. 参加したい 3. どちらとも言えない 4. あまり参加したくない
5. 参加したくない

1. はい 2. いいえ

1. 4つ 2. 3つ 3. 2つ 4. 1つ 5. 想像できない

1. している 2. していない 3. わからない

1. 教育内容 2. 研究内容 3. 大学の雰囲気 4. 偏差値が適切
5. 街中にあるキャンパス 6. 就職に有利 7. 国立大学 8. 親や知り合いのすすめ
9. 実家に近い 10. 何となく)
11. その他()

1. 自分の志望にあった学科があるから
2. 数学や理科に興味があるから
3. 理数系の他分野と一緒に学ぶことができそうだから
4. 就職に有利だから
5. 偏差値
6. 何となく
7. その他()

(自由記載)

8

表. 高校生に対するアンケート結果

問 1-①学年			問 1-②性別		問 2-①自分の進学先について、明確なイメージを既に持っていますか。		問 2-②志望する大学、学部はどれですか。								問 2-③大学、学部を選ぶ際の目安となる事柄はどれですか							
1年	2年	3年	男	女	持っている	持っていない	1. 理学系	2. 工学系	3. 農・水産系	4. 医・歯・薬系	5. 教育系	6. 人文社会系	7. 芸術系	8. その他	1. 知名度・イメージ	2. 立地	3. 自身の学力	4. 就職先・就職率	5. 資格等	6. 教育内容	7. 研究内容	8. その他
111	783	171	616	449	795	264	167	173	58	220	51	70	14	83	243	246	471	287	271	291	160	29

表. 高校生に対するアンケート結果（続き）

問 2-④(①で「持っていない」と答えた人にお尋ねします)明確でない理由は何ですか。				問 2-⑤大学ではどのようなカリキュラムで勉強したいですか				問 2-⑥転学部、転学科など、専門分野を変更する機会には必要ですか。もし変更するなら、どのタイミングで変更したいですか。				問 2-⑦大学卒業時に最も身につけておきたい能力・事柄はどれですか(複数回答可3つまで)											
1. 1. 自分の適性がわからない	2. 2. 大学、学部、学部の教育内容がわからない	3. 3. 将来の職業に迷っている	4. 4. その他	1. 1. 最初から専門分野を中心に勉強したい	2. 2. 最初は専門分野を定めず、自分の興味のある分野を勉強したい	3. 3. 専門分野にこだわらず、自分の興味のある分野を勉強したい	4. 4. その他	1. 1. 必要(2年進級時)	2. 2. 必要(3年進級時)	3. 3. 必要(4年進級時)	4. 4. 不要	1. 1. 専門分野の知識	2. 2. 視野の広さ	3. 3. 仕事に対する職務遂行能力	4. 4. 協調性	5. 5. 創造力・企画力	6. 6. 分析力・情報処理能力	7. 7. 表現力・説得力	8. 8. リーダーシップ	9. 9. コミュニケーション能力	10. 10. 責任感・粘り強さ・誠実性	11. 11. 外国語(英語など)の能力	12. 12. パソコン操作等の能力
71	19	149	13	281	460	303	9	494	153	6	400	619	298	219	118	299	149	258	65	355	179	185	130

表. 高校生に対するアンケート結果 (続き)

問 3 大学卒業後に希望する職業・進路はどれですか					問 4 大学への進学を検討する際、希望する職業・進路との関連性を考えていますか。					問 5 多くの大学で海外留学支援の制度があります。在学中に海外留学をしたいですか。					問 6 多くの大学でインターンシップ(企業等での研修)参加の支援制度があります。在学中に、インターンシップに参加したいですか。				
1. 民間企業	2. 公務員	3. 教員	4. 大学院進学	5. わからない・未定	1. 大いに考えている	2. 考えている	3. どちらとも言えない	4. あまり考えていない	5. 考えていない	1. 大いにしたい	2. したい	3. どちらとも言えない	4. あまりしたくない	5. したくない	1. 大いに参加したい	2. 参加したい	3. どちらとも言えない	4. あまり参加したくない	5. 参加したくない
273	179	71	104	428	369	433	158	68	23	139	256	370	182	109	200	492	305	31	25

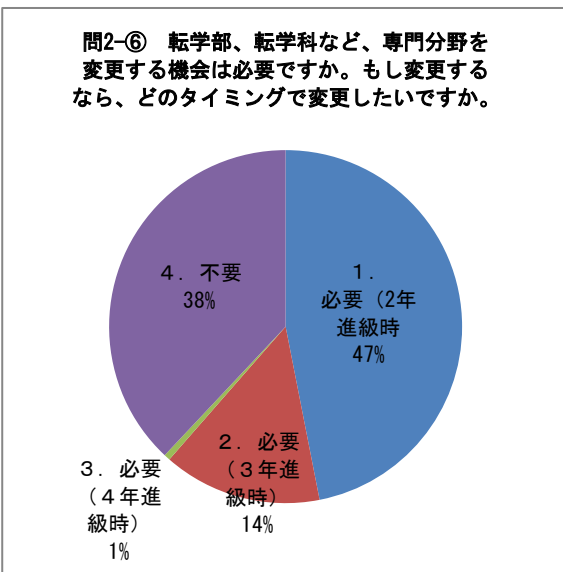
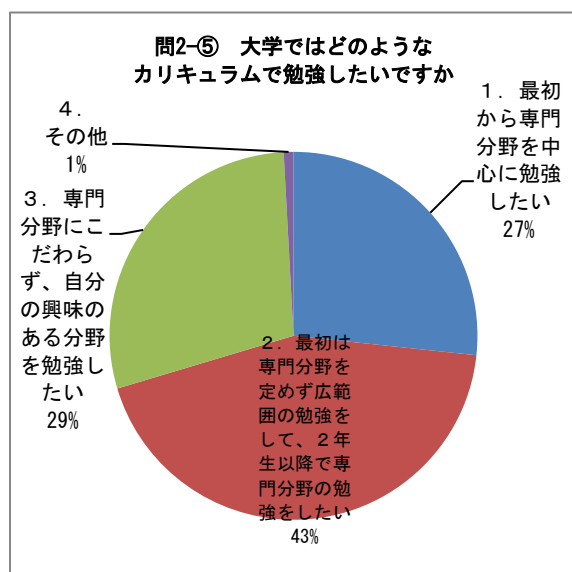
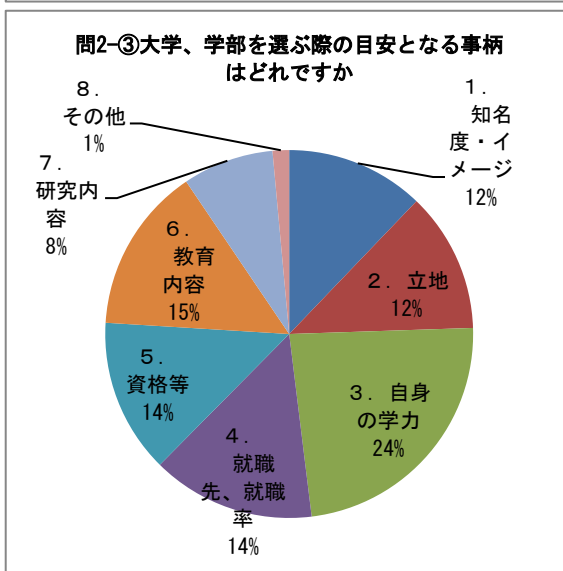
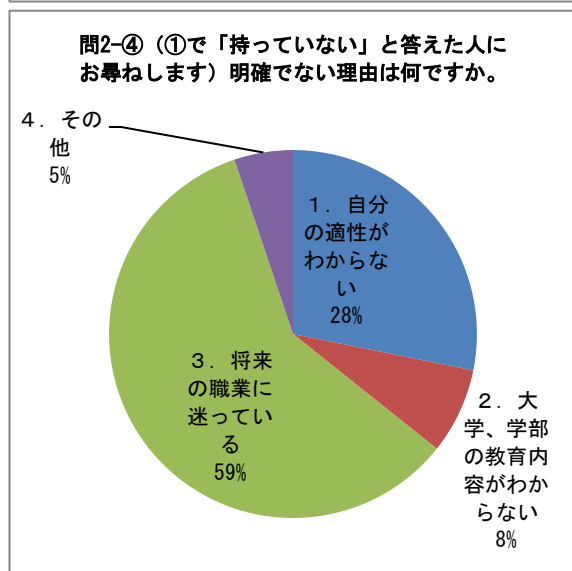
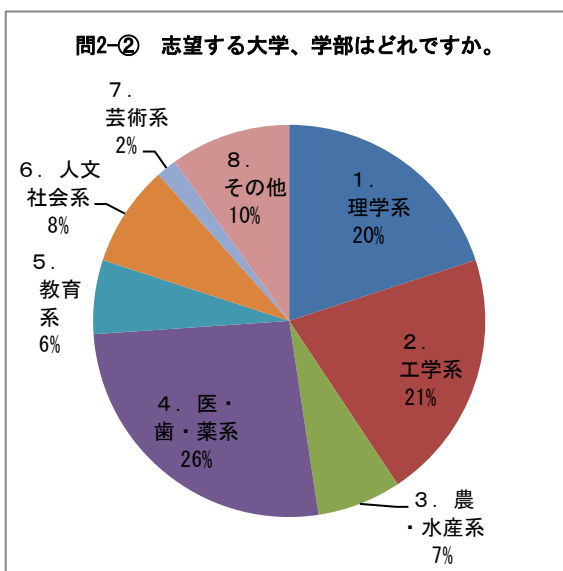
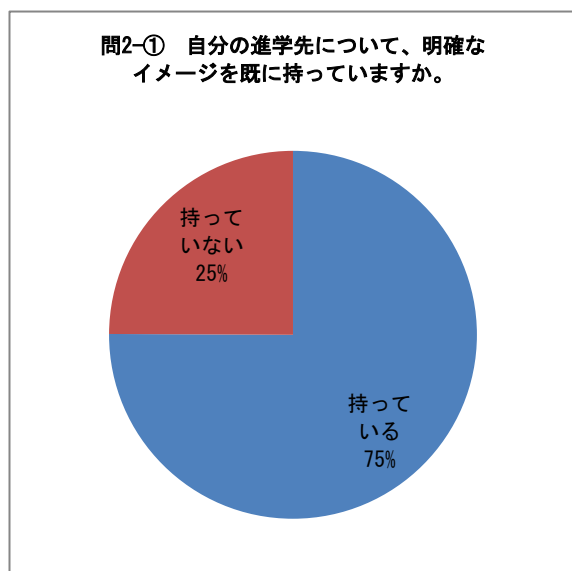
表. 高校生に対するアンケート結果 (続き)

問 7-①鹿児島大学理学部には数理情報科学科、物理科学科、生命化学科、地球環境科学科の4つの学科があるのをご存知ですか		問 7-②「①」の設問にある学科名から何を学べるか想像できる学科はいくつありますか。					問 7-③鹿児島大学理学部を進学先として志望していますか。			問 7-④鹿児島大学理学部を志望している方にお尋ねします。志望動機は何ですか(複数回答可)。										
1. はい	2. いいえ	1. 4つ	2. 3つ	3. 2つ	4. 1つ	5. 想像できない	1. している	2. していない	3. わからない	1. 教育内容	2. 研究内容	3. 大学の雰囲気	4. 偏差値が適切	5. 街中にあるキャンパス	6. 就職に有利	7. 国立大学	8. 親や知り合いのすすめる	9. 実家に近い	10. 何となく	11. その他
414	643	187	222	283	112	209	201	654	136	74	62	34	29	10	16	111	24	61	16	7

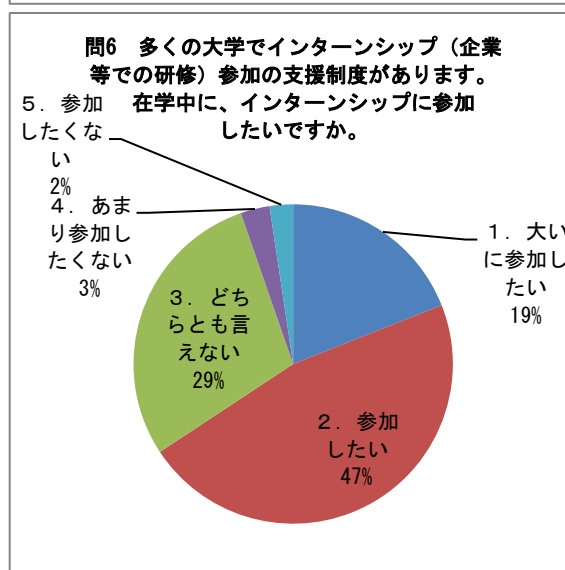
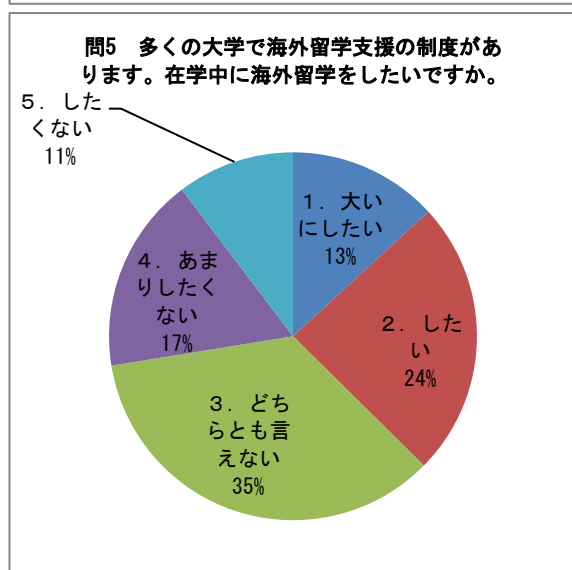
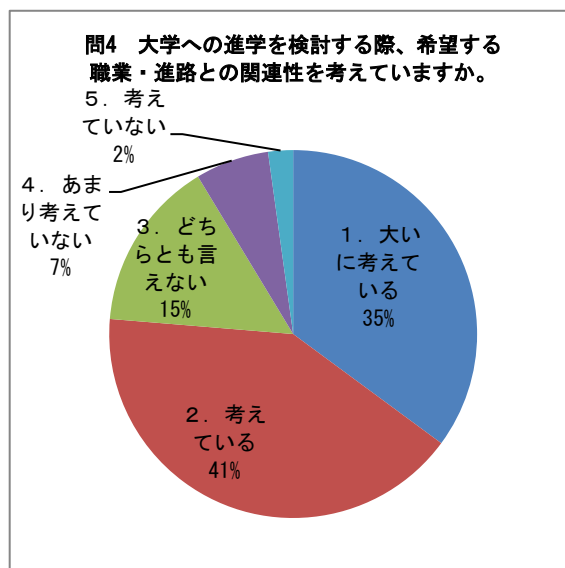
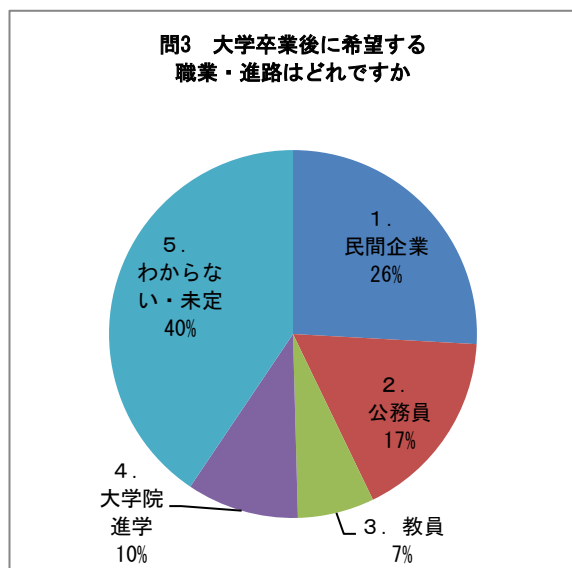
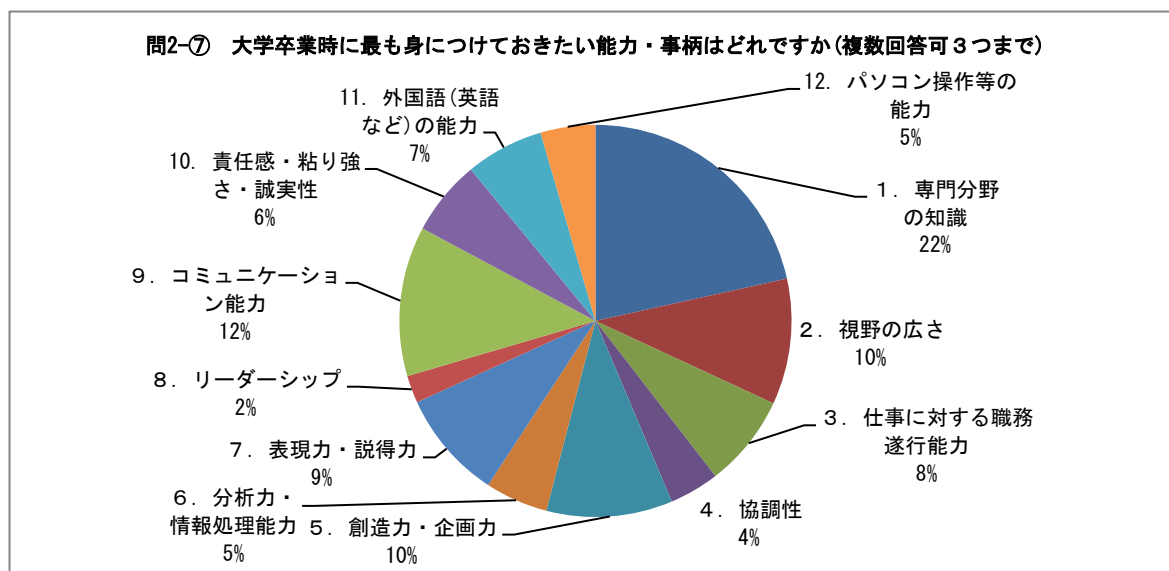
表. 高校生に対するアンケート結果（続き）

問 7-⑤鹿児島大学理学部を志望している方にお尋ねします。他大学・他学部ではなく 鹿児島大学理学部を志望する理由は何ですか。(複数回答可2つまで)							
科があるから	1. 自分の志望にあった学	2. 数学や理科に興味があるから	3. 理数系の他分野を一緒に学ぶことができそうだから	4. 就職に有利だから	5. 偏差値	6. 何となく	7. その他
	111	75	28	19	21	18	9

図．高校生に対するアンケート結果のグラフ

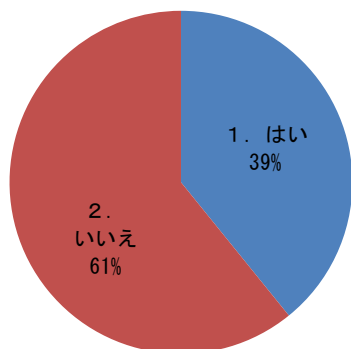


図．高校生に対するアンケート結果のグラフ（続き）

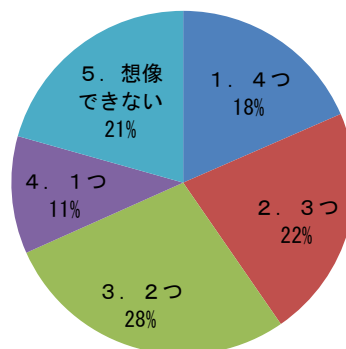


図．高校生に対するアンケート結果のグラフ（続き）

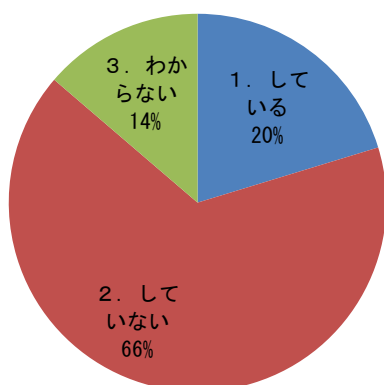
問7-① 鹿児島大学理学部には、数理情報科学科、物理科学科、生命化学科、地球環境科学科の4つの学科があるのをご存知ですか



問7-② 「①」の設問にある学科名から何を学べるか想像できる学科はいくつありますか。



問7-③ 鹿児島大学理学部を進学先として志望していますか。



問7-④ 鹿児島大学理学部を志望している方にお尋ねします。志望動機は何ですか(複数回答可)。

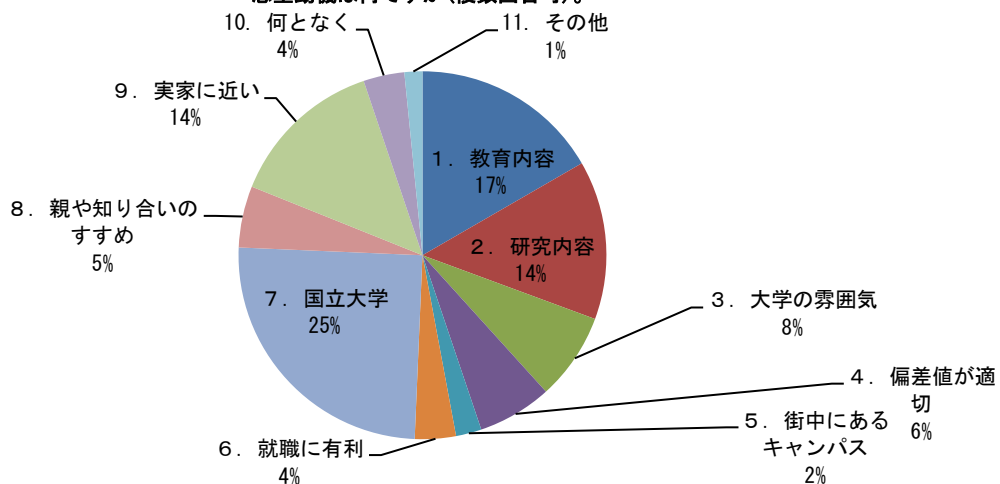


図. 高校生に対するアンケート結果のグラフ (続き)

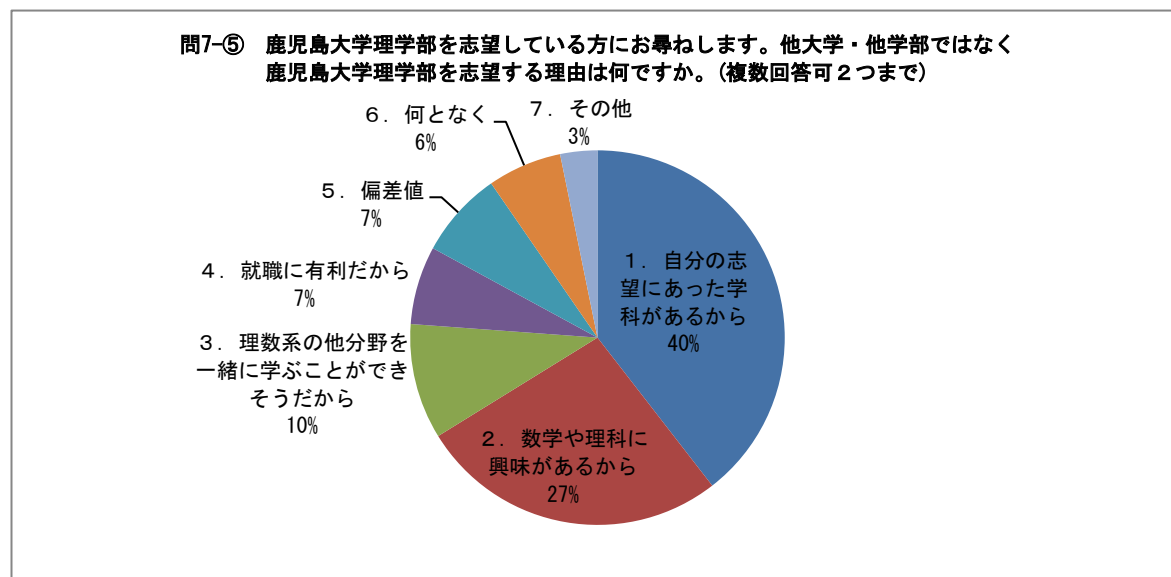


表. 最近5年間の理学部入試状況

入試区分 年度		数理情報科学科						物理科学科						生命化学科						地球環境科学科						合計					
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
総括	平成26年度	40	117	101	46	40	2.93	45	110	89	51	45	2.44	50	200	143	58	50	4.00	50	135	114	57	51	2.70	185	562	447	212	186	3.04
	平成27年度	40	119	92	47	42	2.98	45	187	160	52	47	4.16	50	163	125	62	51	3.26	50	154	131	57	53	3.08	185	623	508	218	193	3.37
	平成28年度	40	118	86	47	42	2.95	45	124	104	53	45	2.76	50	151	101	62	54	3.02	50	137	119	58	52	2.74	185	530	410	220	193	2.86
	平成29年度	40	114	92	45	41	2.85	45	99	79	53	50	2.20	50	112	79	61	50	2.24	50	124	97	56	53	2.48	185	449	347	215	194	2.43
	平成30年度	40	129	110	47	43	3.23	45	180	144	52	46	4.00	50	242	197	67	50	4.84	50	122	99	57	53	2.44	185	673	550	223	192	3.64
	5年間の平均						2.99						3.11						3.47						2.69						3.07
前期	平成26年度	28	67	65	30	28	2.39	31	59	58	35	33	1.90	34	95	93	38	33	2.79	30	62	60	36	33	2.07	123	283	276	139	127	2.30
	平成27年度	28	58	55	32	29	2.07	31	114	112	35	32	3.68	34	89	84	39	33	2.62	30	88	87	36	33	2.93	123	349	338	142	127	2.84
	平成28年度	28	50	48	31	28	1.79	31	75	73	35	30	2.42	34	63	59	41	35	1.85	30	82	79	35	30	2.73	123	270	259	142	123	2.20
	平成29年度	28	61	59	33	31	2.18	31	45	45	36	34	1.45	34	51	48	36	29	1.50	30	57	56	36	33	1.90	123	214	208	141	127	1.74
	平成30年度	28	74	72	34	32	2.64	31	107	102	35	33	3.45	34	125	121	42	33	3.68	30	64	61	37	36	2.13	123	370	356	148	134	3.01
	5年間の平均						2.21						2.58						2.49						2.35						2.42

表. 最近5年間の理学部入試状況（続き）

入試区分 年度		数理情報科学科					物理科学科					生命化学科					地球環境科学科					合計									
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率						
後期	平成 26 年度	5	22	9	8	5	4.40	6	31	11	8	4	5.17	12	92	37	15	12	7.67	5	38	19	5	2	7.60	28	183	76	36	23	6.54
	平成 27 年度	5	35	11	8	6	7.00	6	52	27	9	7	8.67	12	59	26	18	14	4.92	5	31	9	6	5	6.20	28	177	73	41	32	6.32
	平成 28 年度	5	45	15	9	7	9.00	6	32	14	10	7	5.33	12	70	24	14	14	5.83	5	31	16	8	7	6.20	28	178	69	41	35	6.36
	平成 29 年度	5	34	14	5	3	6.80	6	34	14	9	8	5.67	12	50	20	18	15	4.17	5	41	15	5	5	8.20	28	159	63	37	31	5.68
	平成 30 年度	5	25	8	5	4	5.00	6	49	19	7	5	8.17	12	97	56	19	12	8.08	5	33	13	5	2	6.60	28	204	96	36	23	7.29
	5 年間の平均						6.44						6.60						6.13						6.96						6.44
AO	平成 26 年度	7	27	26	7	7	3.86	8	20	20	8	8	2.50	4	11	11	4	4	2.75							19	58	57	19	19	3.05
	平成 27 年度	7	26	26	7	7	3.71	8	21	21	8	8	2.63	4	11	11	4	4	2.75							19	58	58	19	19	3.05
	平成 28 年度	7	23	23	7	7	3.29	8	16	16	8	8	2.00	4	12	12	4	4	3.00							19	51	51	19	19	2.68
	平成 29 年度	7	19	19	7	7	2.71	8	20	20	8	8	2.50	4	8	8	4	4	2.00							19	47	47	19	19	2.47
	平成 30 年度	7	26	26	7	7	3.71	8	19	18	8	8	2.38	4	15	15	4	4	3.75							19	60	59	19	19	3.16
	5 年間の平均						3.46						2.40						2.85												2.88

表. 最近5年間の理学部入試状況（続き）

入試区分 年度		数理情報科学科					物理科学科					生命化学科					地球環境科学科					合計									
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率						
推薦	平成 26 年度																			15	33	33	15	15	2.20	15	33	33	15	15	2.20
	平成 27 年度																			15	35	35	15	15	2.33	15	35	35	15	15	2.33
	平成 28 年度																			15	24	24	15	15	1.60	15	24	24	15	15	1.60
	平成 29 年度																			15	26	26	15	15	1.73	15	26	26	15	15	1.73
	平成 30 年度																			15	24	24	15	15	1.60	15	24	24	15	15	1.60
	5 年間の平均																														
私費	平成 26 年度	0	1	1	1	0		0	0	0	0	0		0	2	2	1	1		0	2	2	1	1		0	5	5	3	2	
	平成 27 年度	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	4	4	1	0		0	0	0	0	0		0	4	4	1	0	
	平成 28 年度	0	0	0	0	0		0	1	1	0	0		0	6	6	3	1		0	0	0	0	0		0	7	7	3	1	
	平成 29 年度	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	3	3	3	2		0	0	0	0	0		0	3	3	3	2	
	平成 30 年度	0	4	4	1	0		0	5	5	2	0		0	5	5	2	1		0	1	1	0	0		0	15	15	5	1	

表. 最近5年間の理学部卒業生の就職状況

産業別就職先分類			H29卒業生	H28卒業生	H27卒業生	H26卒業生	H25卒業生
産 業 別 <							

女子は()書きで内数として示す。

表．最近５年間の理学部卒業生に対する求人状況と就職率

年度	H25	H26	H27	H28	H29
求人件数	569	817	519	890	702
就職希望者数	87	90	91	80	93
	(22)	(30)	(42)	(34)	(31)
就職者数	75	86	84	80	89
	(20)	(29)	(38)	(34)	(29)
就職率（％）	86.2	95.6	92.3	100.0	95.7
	(90.9)	(96.7)	(90.5)	(100.0)	(93.5)

女子は（ ）書きで内数として示す。

図. 企業アンケート調査票

鹿児島大学理学部に関するアンケート

鹿児島大学理学部では、数理情報科学科、物理科学科、生命化学科、地球環境科学科の4学科から、理学科5プログラム制(数理情報科学プログラム、物理・宇宙プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地球科学プログラム)への改組を構想しています。
このアンケートは皆様からご意見を伺い、より充実した教育にするための参考資料とさせていただきます。
つきましては、次のアンケートへご協力ください。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまるもの1つに○印を記入してください。)

☐ ①採用の決定権があり、選考に関わっている	☐ ②採用の決定権はないが、選考に関わっている
☐ ③採用には直接関わらず、情報や意見を収集、提供する立場にある	

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)の所在地について、都道府県名をお教えてください。

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまるもの1つに○印を記入してください。)

☐ ①農・林・漁・鉱業	☐ ②建設業	☐ ③製造業
☐ ④電気・ガス・熱供給業	☐ ⑤情報通信業	☐ ⑥運輸業
☐ ⑦卸売、小売業	☐ ⑧金融・保険業	☐ ⑨不動産業
☐ ⑩飲食店・宿泊業	☐ ⑪医療・福祉	☐ ⑫複合サービス事業
☐ ⑬サービス業	☐ ⑭公務	☐ ⑮その他

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)についてご回答ください。(あてはまるもの1つに○印を記入してください。)

☐ ①50名未満	☐ ②50名から100名未満	☐ ③100名から500名未満
☐ ④500名から1000名未満	☐ ⑤1000名～5000名未満	☐ ⑥5000名以上

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数についてお教えてください。

名程度

Q6. 貴社・貴団体での本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまるもの1つに○印を記入してください。)

☐ ①増やす	☐ ②昨年度並み	☐ ③減らす
☐ ④未定	☐ ⑤採用予定なし	☐ ⑥見送り(中止)

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○印を記入してください。)

☐ ①文学系統	☐ ②語学系統	☐ ③法学系統
☐ ④経済・経営・商学系統	☐ ⑤社会学系統	☐ ⑥国際関係学系統
☐ ⑦教員養成・教育学系統	☐ ⑧生活科学学系統	☐ ⑨芸術学系統
☐ ⑩複合科学系統	☐ ⑪看護・保健学系統	☐ ⑫医・歯・薬学系統
☐ ⑬理学系統	☐ ⑭工学系統	☐ ⑮農・水産学系統
☐ ⑯その他	☐ ⑰学部・学問系統にはこだわらない	

(裏面もあります)

図. 企業アンケート調査票（続き）

鹿児島大学理学部は、数理情報科学科、物理科学科、生命化学科、地球環境科学科の4学科から、理学科5プログラム制（数理情報科学プログラム、物理・宇宙プログラム、化学プログラム、生物学プログラム、地球科学プログラム）への改組を構想しています。ここからは、同封しております資料をご覧くださいの上でお答えください。

Q8. 鹿児島大学理学部「理学科」には、以下のような特色があります。貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力的に感じますか。（それぞれ、あてはまるもの1つに○印を記入してください。）

理学科の特徴		①とても 魅力を感じる	②ある程度 魅力を感じる	③あまり 魅力を感じない	④まったく 魅力を感じない
A	分野横断的教育 低学年次に理学部共通科目を受講することで、基礎的な数学と自然科学の知識を身に付ける。高学年では、自分の専門分野の科目に加えて、他分野科目も体系的に受講し、広い範囲の知識を身に付ける。	☐	☐	☐	☐
B	専門分野は自分で決める「学びの質保証」 専門分野を限定しない「大振り入試」を導入。1年次に理学部基礎科目を学んだ後に、学生の希望に応じて専門分野を選択することで、自分が本当に学びたいこと、学ぶべきことを理解し、自律的な学びの姿勢を身に付ける。	☐	☐	☐	☐
C	自学自習を促す「理解の質保証」 授業終了後に、教員や学習支援員に質問したり、課題に取り組んだりすることができる「オフィスアワー」と「ワークプレイス」を設定。学生同士で学び合い、自学自習の態度を身に付ける。	☐	☐	☐	☐
D	キャリアに応じた2コース制 卒業後、就職もしくは様々な分野の大学院に進学する「一般コース」、又は、鹿児島大学理工学研究科博士前期課程に進学し、高度な研究能力を有する人材を育成する「理数教育プロジェクトコース」が選択可能。	☐	☐	☐	☐

Q9. 貴社・貴団体では、鹿児島大学理学部「理学科」を卒業、もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われませんか。（どちらかに○印を記入してください。）

☐ ①採用したいと思う ☐ ②採用したいと思わない

Q10. Q9 で「採用したいと思う」と回答された方にお尋ねします。
採用される場合、卒業した学生を毎年何名程度の採用を想定されますか。（あてはまるもの1つに○印を記入してください。）

☐ ①1名 ☐ ②2名 ☐ ③3名 ☐ ④4名
☐ ⑤5名～9名 ☐ ⑥10名以上 ☐ ⑦人数は未確定

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

表. 企業アンケート調査結果

Q1. 人事採用 への関与度			Q2. 所在地			Q3. 業種															Q4. 従業員数					
①採用の決定権があり、選考にかかわっている	②採用の決定権はないが、選考にかかわっている	③採用には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある	①鹿児島	②九州（鹿児島以外）	③その他	①農・林・漁・鉱業	②建設業	③製造業	④電気・ガス・熱供給業	⑤情報通信業	⑥運輸業	⑦卸売、小売業	⑧金融・保険業	⑨不動産業	⑩飲食店・宿泊	⑪医療・福祉	⑫複合サービス事業	⑬サービス業	⑭公務	⑮その他	①5名未満	②5名から100名未満	③100名から500名未満	④500名から1000名未満	⑤1000名～5000名未満	⑥5000名以上
29	98	16	45	39	58	2	10	43	1	34	1	20	7	0	0	1	2	12	4	5	11	19	51	20	25	17

表. 企業アンケート調査結果（続き）

Q5. 過去3か年の平均的な採用数				Q6. 本年度の採用予定数(昨年度比)						Q7. 採用対象学部等																
①0～5	②6～10	③11～50	④50以上	①増やす	②昨年度並み	③減らす	④未定	⑤採用予定なし	⑥見送り(中止)	①文学系統	②語学系統	③法学系統	④経済・経営・商学系統	⑤社会学系統	⑥国際関係学系統	⑦教員養成・教育学系統	⑧生活科学学系統	⑨芸術学系統	⑩複合科学系統	⑪看護・保健学系統	⑫医・歯・薬学系統	⑬理学系統	⑭工学系統	⑮農・水産学系統	⑯その他	⑰学部・学問系統にはこだわらない
34	15	48	34	41	88	5	8	1	0	14	11	22	35	10	9	6	6	1	12	2	5	57	64	20	3	89

表. 企業アンケート調査結果（続き）

Q8. 鹿児島大学理学部「理学科」の魅力															
A 分野横断的教育				B 「学びの質保証」				C 「理解の質保証」				D キャリアに応じた2コース制			
①とても魅力を感じる	②ある程度魅力を感じる	③あまり魅力を感じない	④まったく魅力を感じない	①とても魅力を感じる	②ある程度魅力を感じる	③あまり魅力を感じない	④まったく魅力を感じない	①とても魅力を感じる	②ある程度魅力を感じる	③あまり魅力を感じない	④まったく魅力を感じない	①とても魅力を感じる	②ある程度魅力を感じる	③あまり魅力を感じない	④まったく魅力を感じない
57	72	13	0	67	65	9	0	70	59	12	0	38	80	22	1

Q9. 「理学科」卒業生に対する採用意欲		Q10. 想定される採用数						
①採用したいと思う	②採用したいと思わない	①1名	②2名	③3名	④4名	⑤5名～9名	⑥10名以上	⑦人数は未確定
136	4	18	18	12	0	1	1	84

図. 企業アンケート調査結果のグラフ

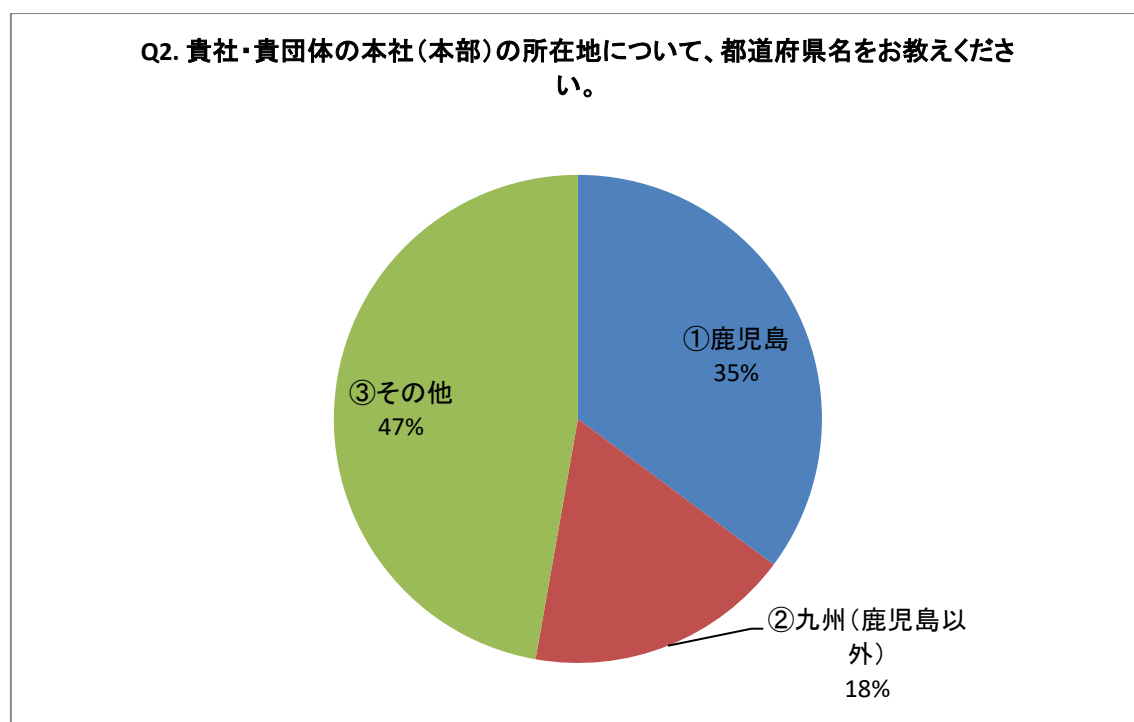
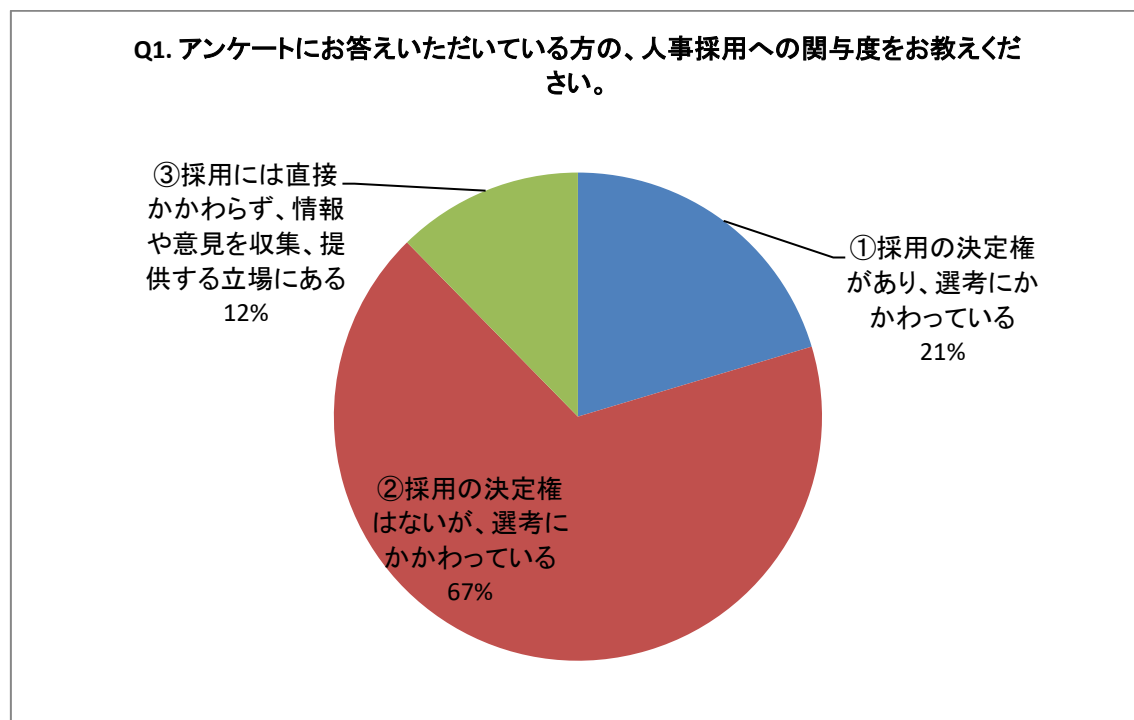


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

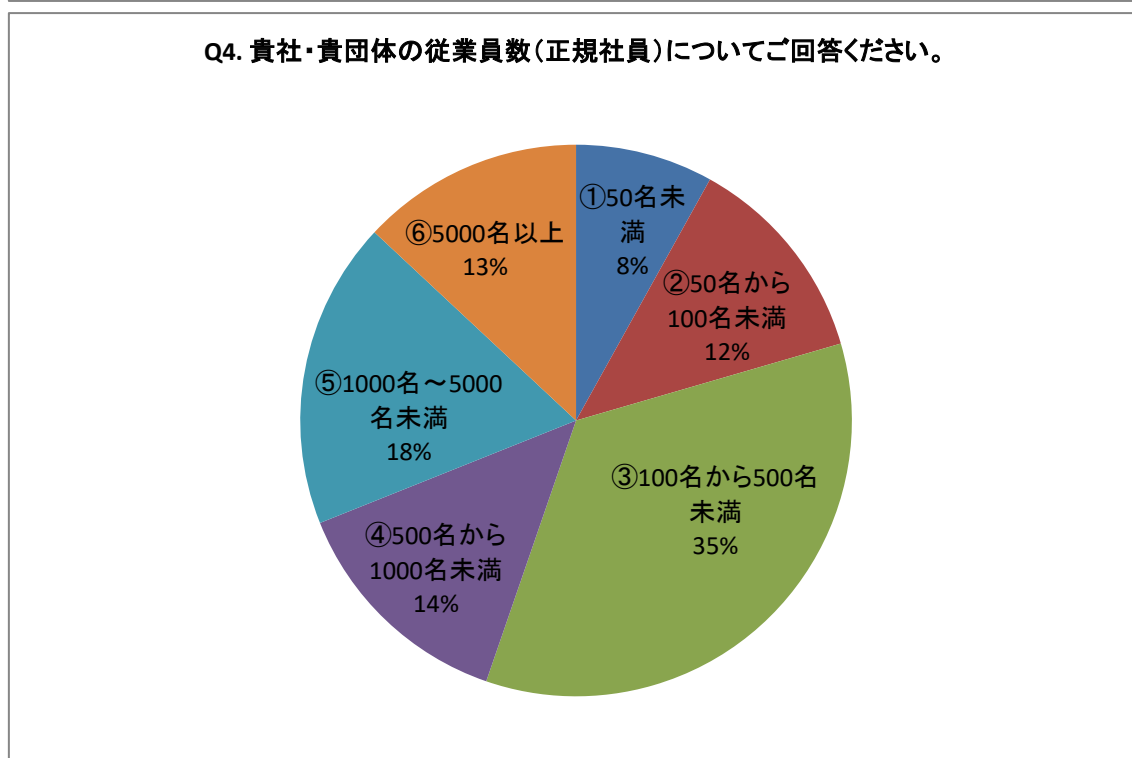
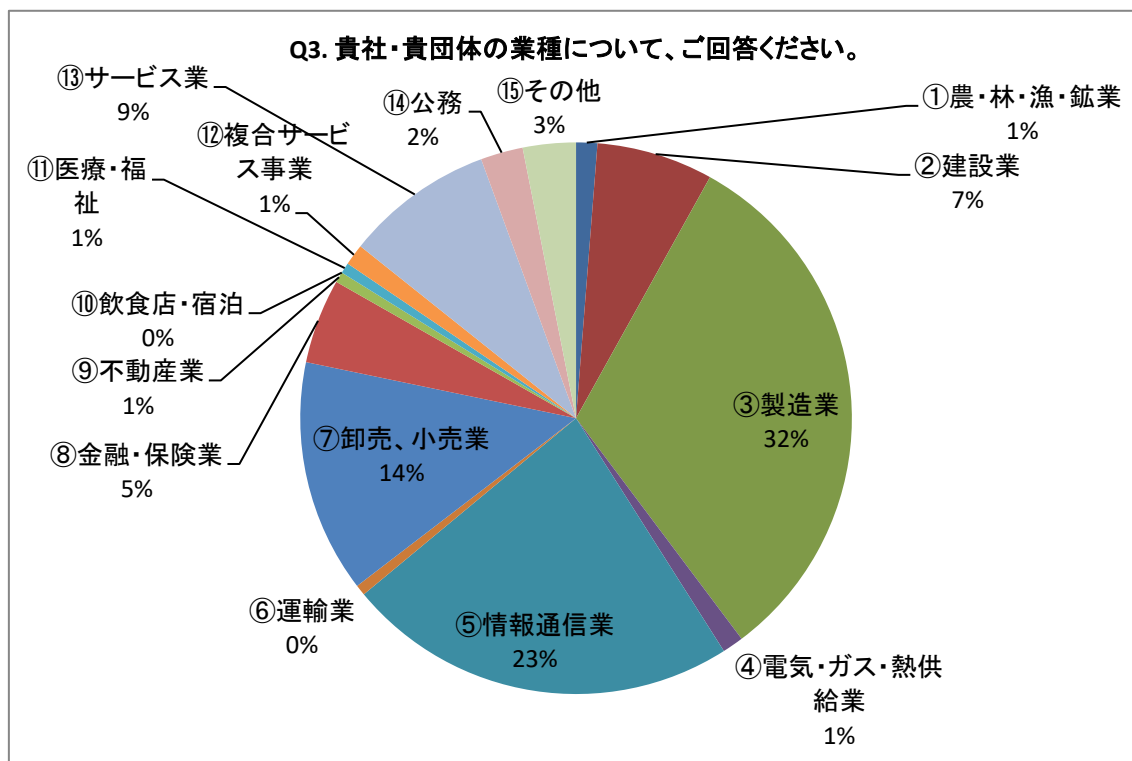
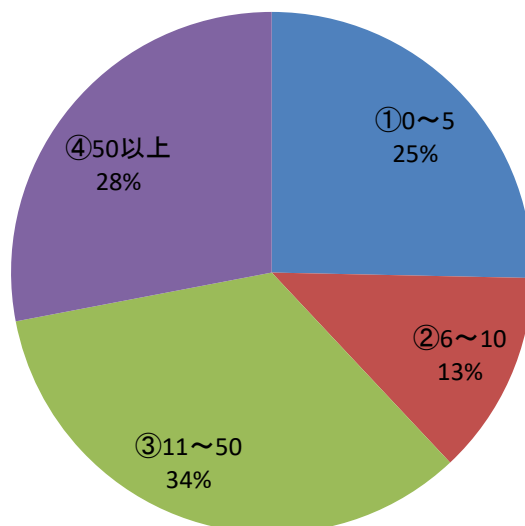


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数についてお教えてください。



Q6. 貴社・貴団体での本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

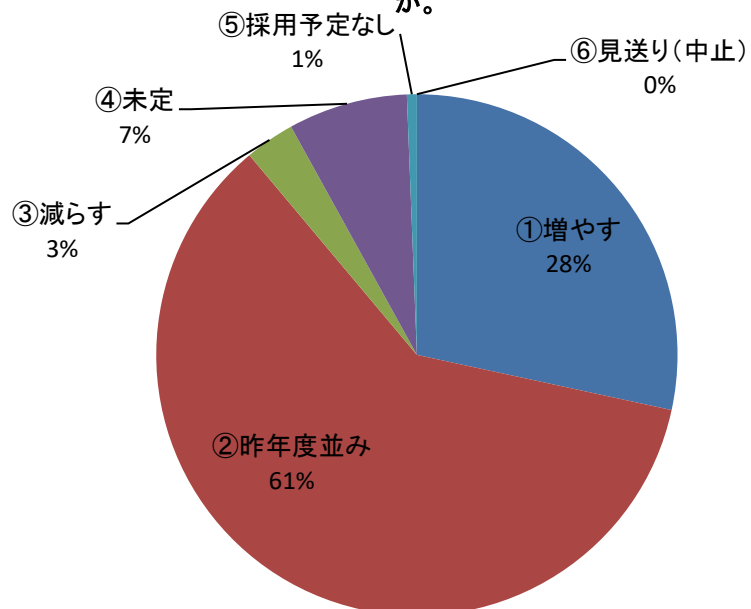


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

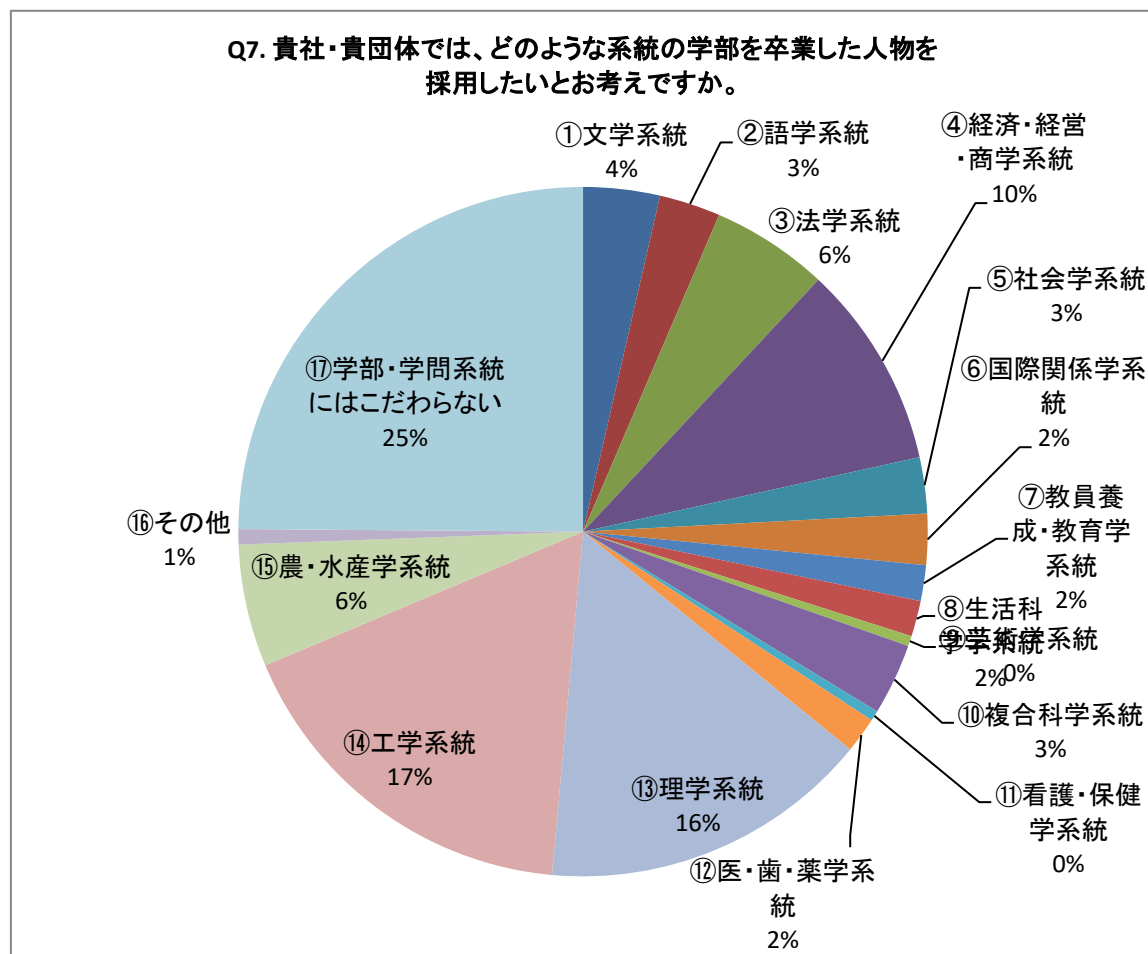


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

Q8. 鹿児島大学理学部「理学科」には、以下のような特色があります。

貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力的に感じますか。

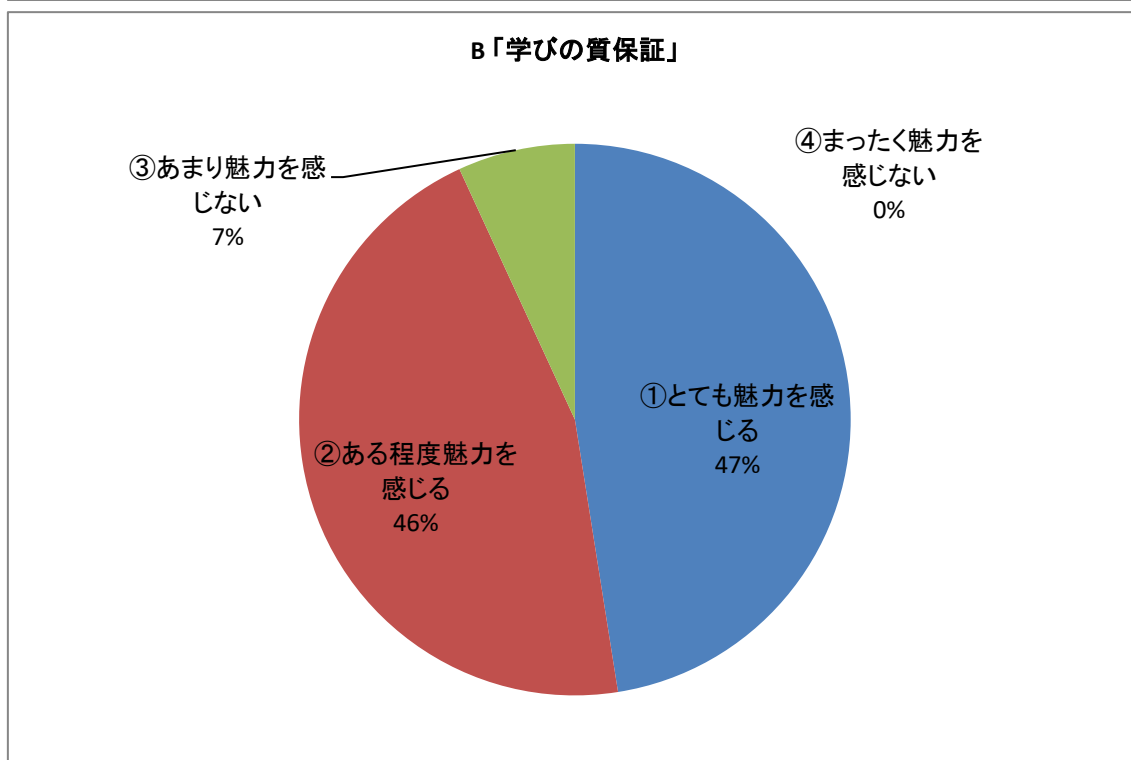
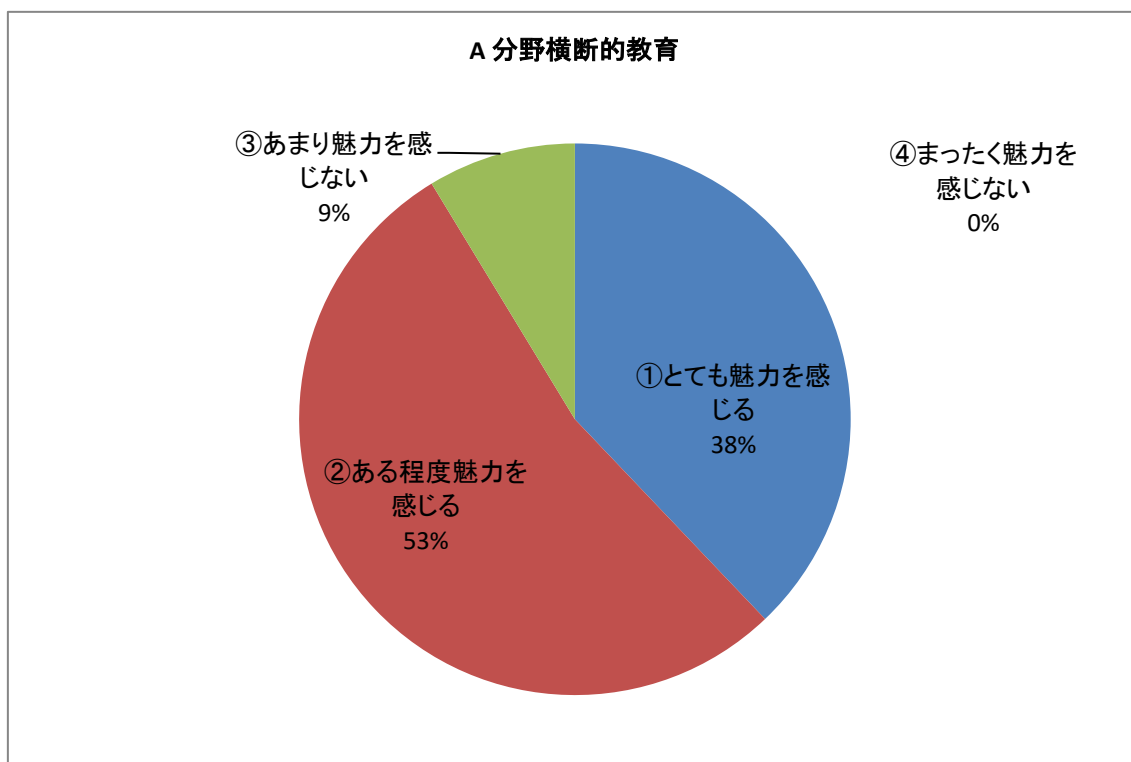


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

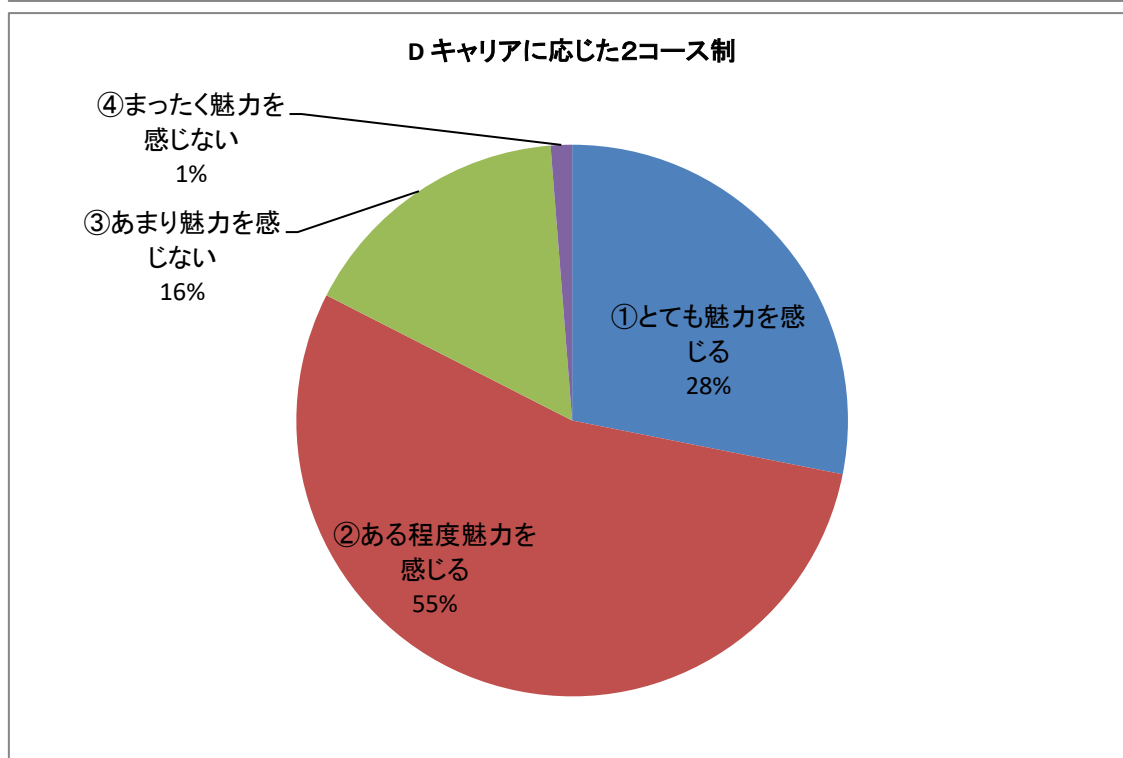
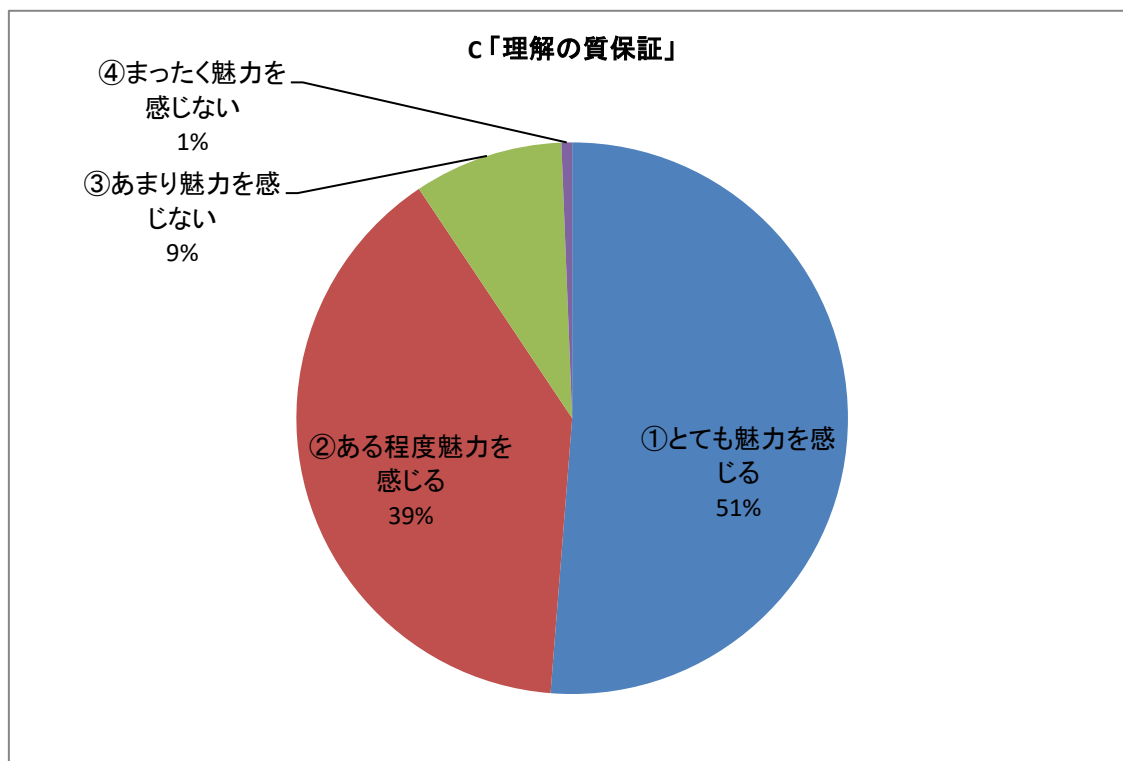
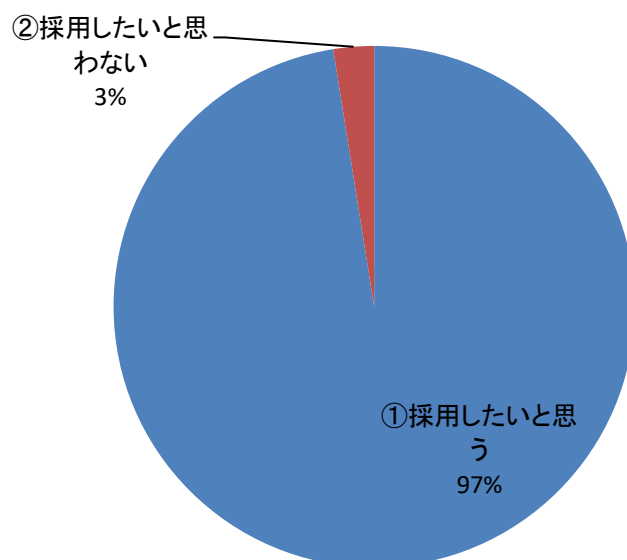


図. 企業アンケート調査結果のグラフ（続き）

Q9. 貴社・貴団体では、鹿児島大学理学部「理学科」を卒業、もしくは卒業後に大学院を修了した学生を採用したいと思われますか。



Q9 で「採用したいと思う」と回答された方にお尋ねします。採用される場合、卒業した学生を毎年何名程度の採用を想定されますか。

